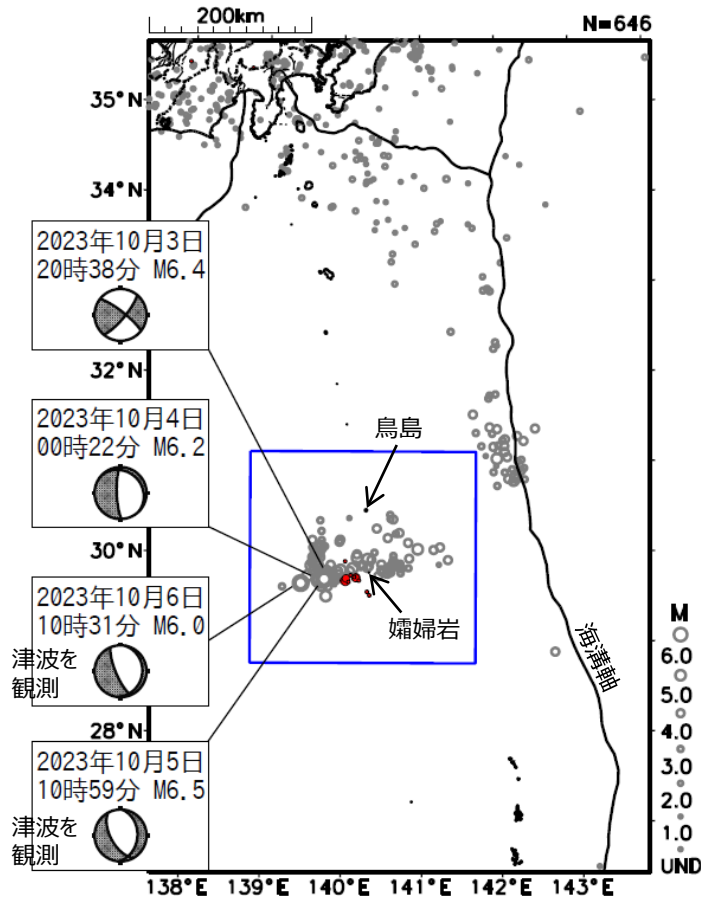


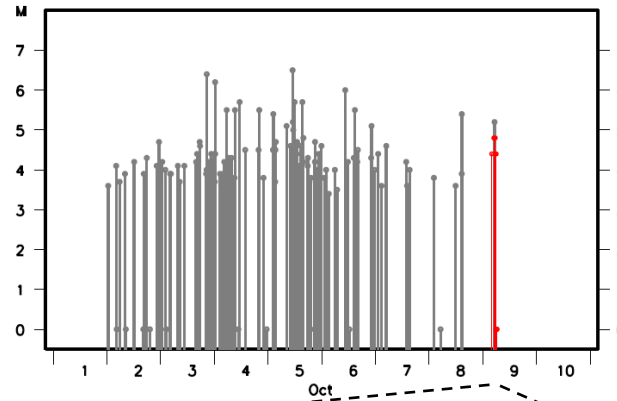
2023年10月 鳥島近海の地震活動（T相の発生源）

震央分布図

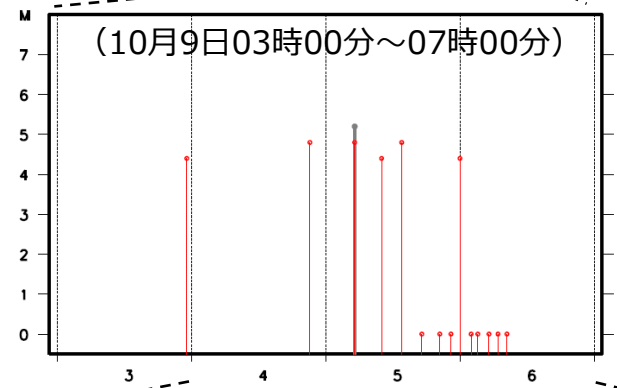
(2023年10月1日～10月10日、
深さ0～100km、M全て)



青矩形内のM-T図

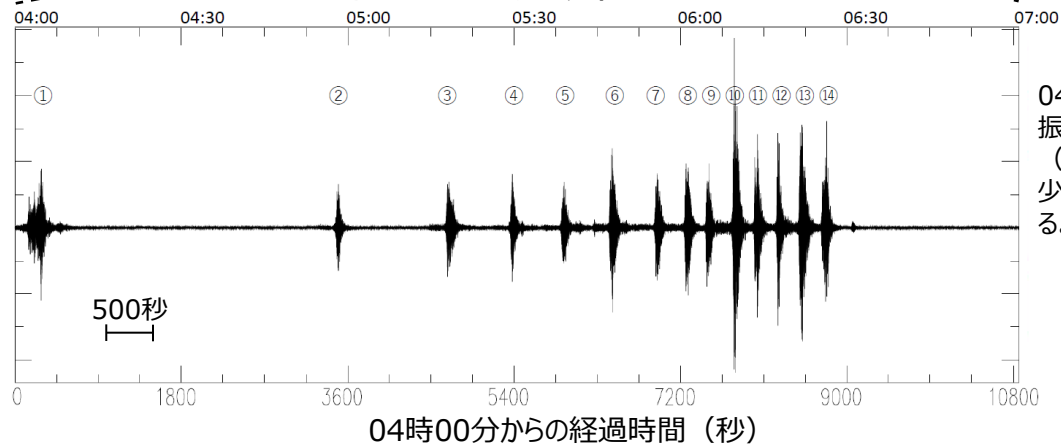


10月9日04時頃から06時台の
T相の発生源に対応する地震活
動について、マグニチュードが推定
できたものの最大はM4.8である。



赤色はT相の発生源のマグニチュード。
マグニチュードが決定できなかったものは
マグニチュード0.0で表示。

父島（気象庁多機能観測点）上下成分の波形

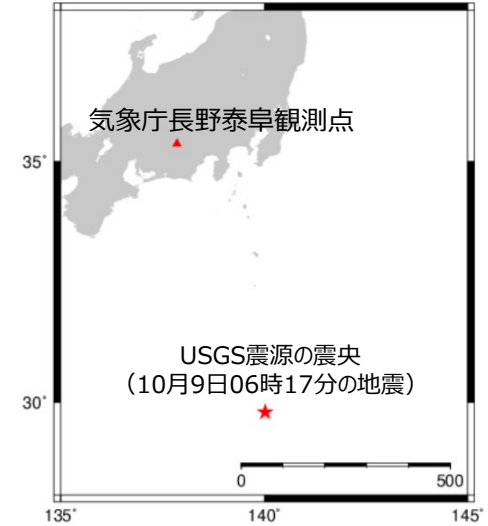


04時頃～06時台に
振幅の大きな波形
（T相と考えらる）が
少なくとも14個みられ
る。

2023年10月 鳥島近海の地震活動（10月9日04時頃から06時台における地震活動の規模の上限の推定）

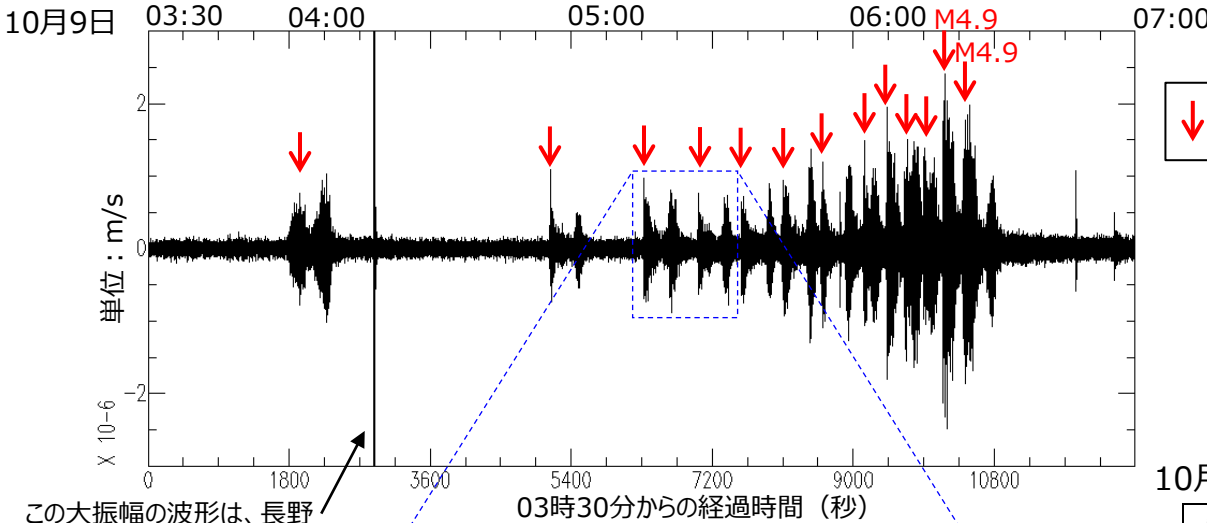
10月9日04時頃から06時台における地震活動の規模の上限を推定するため、T相の影響をあまりうけない内陸の「長野泰阜観測点」における、この期間における各地震の実体波部分の最大振幅に対応する観測点Mを推定した結果、最大規模の地震はM4.9と推定された。

観測点と震央位置



10月9日06時17分の地震のUSGSによる震源位置を元に、気象庁一元化震源処理と同じ手法で速度Mを計算した

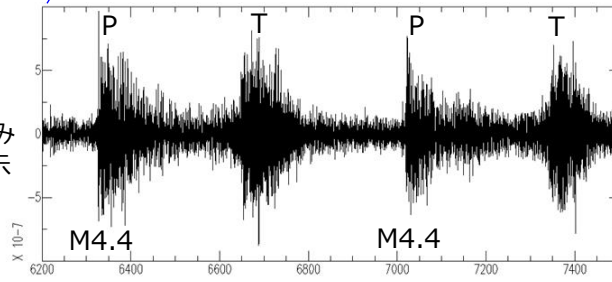
気象庁長野泰阜（やすおか）観測点（短周期速度型地震計の上下成分）



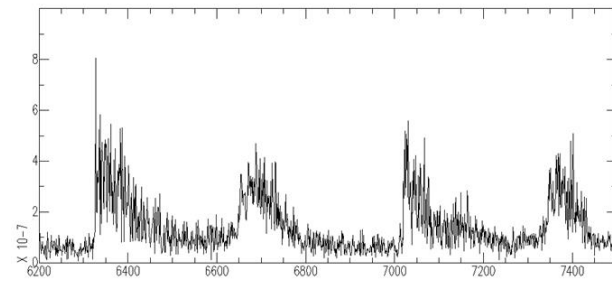
↓ 実体波部分の最大振幅の発現時刻

この大振幅の波形は、長野県南部で04時17分に発生した地震（M2.0）に対応

上図の青点線囲みの波形を拡大表示



上図の波形のエンベロープ表示



10月9日04時頃から06時台の各地震のマグニチュード比較

発生時刻 (USGS震源)	T相発生源M	USGS mb	長野泰阜観測点 速度M
3:58	4.4V	4.3	4.1
4:53	4.8V	4.5	4.4
5:13	4.8V	4.7	4.4
5:25	4.4V	4.9	4.4
5:34	4.8v	4.7	4.4
5:43	-	4.8	4.4
5:51	-	4.7	4.6
5:56	-	4.9	-
6:00	4.4v	5.0	4.6
6:05	-	5.4	4.8
6:09	-	4.9	4.6
6:13	-	5.0	4.6
6:17	-	5.3	4.9
6:21	-	4.9	4.9

灰色ハッチはM未決定を示す

(USGSの震源データは2023年11月7日時点)